

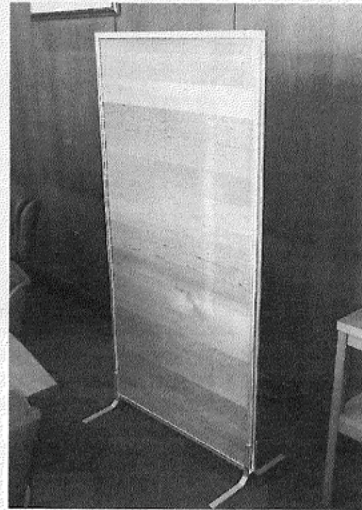
# 府内産材をプレカット利用

## 木材利用にこだわり商品開発も 村上木材

大阪市内でプレカットを行う村上木材(大坂市、佐原謙次社長)は、府内の河内長野産材を利用して、大

品、太陽光発電などまは自動加工機を導入し行

阪府内産材は産出量で幅広く取り扱い、住宅にかかわるあらゆる製品を一気通貫で供給する体制を目指す。そのうえで構造プレカットに新規事業の材工込み販売を加え、総合提案力を強化している。村上木材は100年以上の歴史を持つ老舗で、世界各国から輸入する木材の取り扱いで知られている。木材販売に加え、住設機器販売やムクフロリングなどの自社ブランド製品、太陽光発電などまは自動加工機を導入し行



パーティションの開発などで木材の高付加価値化を図る

て窓系サイディングのプレカットも行う。構造プレカットの供給量はプレテックが月間4500坪で、プレテック福岡が同2500坪の合計7000坪。大阪府内産材の利用は同社のユニークな特徴となっている。さらに、プレカットを含めた総合提案力の強化を図るため、2014年に材工込み販売を始めた。物販だけでは差別化できなくなるという危機感と、職人が減少するなか施工力の確保が販売先との連携強化で重要との考えからだ。材工込み販売は1級建築士や施工管理技師を含め7人体制で対応しており、住宅の丸請け建築に加え、非住宅物件の内装工事なども行う。最近では特別養護老人ホームやマンションの内装工事などで実績を伸ばしている。奈良県に隣接することでは府内の金属加工量が少ないものの取り組みはまじめ。原木は品開発を進めている。奈良県に隣接することでは府内の金属加工量が少ないものの取り組みはまじめ。原木は品開発を進めている。奈良県に隣接することでは府内の金属加工量が少ないものの取り組みはまじめ。原木は品開発を進めている。

佐原社長は「府内の美しい木材を有効活用するため、オフィ